

(講座) 環境薬科学

(研究室) 衛生化学

(氏名) 淵上剛志

(職名) 助教

【研究テーマ】

1. がん選択的な核医学診断の実現を目指したイメージング剤の開発
2. 脳神経疾患の病態解明及び早期診断を目的とした核医学イメージング剤の開発

【論文発表】

A 欧文

(A-a) 原著論文

1. T. Fuchigami, T. Haradahira, N. Fujimoto, Y. Nojiri, T. Mukai, F. Yamamoto, T. Okauchi, J. Maeda, K. Suzuki, T. Suhara, H. Yamaguchi, M. Ogawa, Y. Magata, M. Maeda; Development of *N*-[¹¹C]methylamino 4-hydroxy-2(1H)-quinolone derivatives as PET radioligands for the glycine-binding site of NMDA receptors. *Bioorg. Med. Chem.* 17(15):5665-5675, 2009 (IF: 3.075)

【学会発表】

A 国際学会

(A-b) 一般講演

1. T. Fuchigami, H. Yamaguchi, M. Kosugi, L. Biao, M. Ogawa, Y. Magata; Synthesis and biological evaluation of radioiodinated benzimidazole derivative for SPECT imaging of NMDA receptor NR2B subtype; 2009 World Molecular Imaging Congress, September 23-26 (Montreal, Canada)
2. Y. Magata, L. Biao, H. Yamaguchi, T. Fuchigami, H. Sakahara; Prediction of therapeutic effect of tumor photo dynamic therapy Society of Nuclear Medicine 56th Annual Meeting, June 13-17, 2009 (Toronto, Canada).

B 国内学会

(B-b) 一般講演

1. 淵上 剛志, 山口 博司, 楽 ひょう, 小川 美香子, 間賀田 泰寛; NMDA 受容体 NR2B サブユニットの機能診断を目的とした放射性ヨウ素標識ベンズイミダゾール誘導体の開発; 日本薬学会 第 129 年会, 2009 年 3 月 (京都)
2. 淵上 剛志, 山口 博司, 小杉 睦, 楽 ひょう, 小川 美香子, 間賀田 泰寛; NMDA 受容体 NR2B サブタイプの機能イメージングを目的とした放射性ヨウ素標識ベンズイミダゾール誘導体の開発; 第 49 回日本核医学会学術総会, 2009 年 10 月 (旭川)
3. 間賀田 泰寛, 楽 ひょう, 山口 博司, 淵上 剛志, 阪原 晴海; 光線力学的療法の早期治療効果判定に関する基礎的検討; 第 49 回日本核医学会学術総会, 2009 年 10 月 (旭川)

【研究費取得状況】

1. 腫瘍を標的とした新規 PET イメージング剤としての ^{18}F 標識 GPR54 アゴニストの開発に関する研究；第 33 回がんその他の悪性新生物研究助成金（愛知県がん研究振興会）
2. 統合失調症の機構解明を目的としたグリシントランスポーターを標的とする PET 及び SPECT イメージング研究；基礎医学医療研究助成金（金原一郎記念医学医療振興財団）
3. 動脈硬化の早期発見を目的とした新規 CT 画像診断技術に関する研究；第 6 回日本心臓財団若手研究者研究奨励（日本心臓財団）
4. 腫瘍選択的な核医学診断の実現を目指した新規 Survivin イメージング剤の開発；日本学術振興会 科学研究費補助金・若手研究 B
5. 血管内滞留型新規 X 線 CT 用造影剤の開発；日本学術振興会 科学研究費補助金・基盤研究 B（分担）

【過去の研究業績総計】

原著論文（欧文）	7 編	（邦文）	0 編
総説（欧文）	0 編	（邦文）	1 編
著書（欧文）	0 編	（邦文）	0 編
紀要（欧文）	0 編	（邦文）	0 編
特許	0 件		